

# Take action for your Future

福井県立武生高等学校 SSH 研究推進部 No.17 R4.2.9(水)

## SDGs × Diversity

12月27日(月)に本校にて県内6校(金津高校、高志高校、羽水高校、鯖江高校、武生東高校、武生高校)の生徒たち約70名が参加し、日ごろから研究している課題研究の発表や生徒交流会が行われました。今年度は生徒実行委員会も藤島高校、武生東高校、武生高校の33名で構成され、生徒主体の発表会と生徒交流会の開催となりました。



午前中、第1AV室で「生徒実行委員会からの報告」を皮切りに、被服室・調理室・図書室にてポスター発表7本が行われました。その後、参加生徒全員による生徒交流会①が行われました。交流会のテーマは「課題研究の喜怒哀楽」。生徒実行委員がファシリテーターとなり、交流会を円滑に進めました。また、生徒交流会と並行して、仁愛大学・織田暁子准教授による教員研修会②が行われました。

午後には葵講堂で10本の口頭発表が行われた。その後活発な質疑応答も行われ、会は大いに盛り上がりました。今回は英語での発表が3本あり、質疑応答も英語で行われました。どの発表においても研究に対する熱意が感じられました。その後、午前中同様、生徒交流会②と仁愛大学・西出和彦教授による教員研修会②が行われました。生徒交流会②のテーマは「ポスター発表、口頭発表を聴いてこの研究のここがよかった!」でした。2回目の生徒交流会ということもあり、ファシリテーターを中心に話し合いが活発に行われました。



最後には、生徒たちの課題研究に対する意欲や内容を評価して下さった助言者の先生方から協力を得て、それぞれ「福井大学(米沢賞)」「福井大学(遠藤賞)」「仁愛大学(西出賞)」「仁愛大学(織田賞)、英語の発表は京都大谷大学・非常勤講師ガリーナ先生よりそれぞれの長所を挙げた賞名で表彰していただきました。

**<担当の先生からのコメント>**生徒たちの課題研究はまだ途中のものや、すでに完成したもの、これから発表を控えているもの、とそれぞれですが、立てた「問い」が解決されているものは少ないように見えます。仮に「問い」が解決されても新たな「問い」を見つけたのではないかと思います。社会に出れば、もっと多くの「問い」に出会うことになるでしょう。その時に、高校時代に実践した課題研究で身につけたスキルや意欲が、何かの役立ってくれることを切に願っています。